

①活動概要

沖縄北部地域における風景街道パートナーシップの活動の中心は、歴史遺産・風景といった地域資源を自転車の活用により結び付けていくことである。そこで、安全かつ快適な自転車利用を図るべく、「自転車版快適さマップ」を作成した。作成に当たっては、自転車利用者の視点からの評価も反映させた。（平成19・20年度実施）

②活動の体制

【美ら海とやんばる風景海道PS】

【評価版作成】

【評価】

【完成版作成】

北部国道事務所
ツールドおきなわ協会

【データ活用】

北部地域ITまちづくり協働機構 → まちなみ散策活動への活用、HPアップロード
今帰仁グスクの会 → 観光ガイドマップ作成、周遊コースの案内、ガイド活用
恩納村文化財案内人道の会 → サイクリングコースの設定、ガイド活用
行政機関（道路・交通管理者、自治体） → 景観阻害物の改修、地元PR

③苦労した点や工夫した点

マップ評価は県道以上を対象としたことから、総延長約530kmに及ぶ道路勾配データの取得が必要となった。本調査では、GPSを用いて対象となる路線のデータ取得を行った。

道路の評価は、自転車利用の視点から「安全性」と「快適性」を評価した。安全性の指標は、道路幅員（自歩道・路肩）、自動車交通量、自動車走行速度などとした。快適性の指標は、道路の段差、縦断勾配、勾配延長などとした。

図面はGISにより『全体版』に加え、名護など主要3エリアの『エリア版』を作成した。

④活動の効果

「ツール・ド・おきなわ大会2008」にて参加者へマップの“評価版”を配布すると同時に、アンケート調査を行った。“マップが欲しいか？”という設問に対して、高い支持を受けた（右図）。

⑤今後の活動

作成したマップや構築したデータをもとに、風景街道活動団体への支援媒体及びパートナーシップ支援ツールとして活用する予定である。

問合せ先 担当: 沖縄総合事務局 北部国道事務所 川崎
電話: 0980-54-2744



マップを欲しいですか？

